

よい結果はきちんとした 検査から始まります

歯周病は知らないうちに進行する「沈黙の病」です。適切な治療のためには、来院したあなたの歯肉やあごの骨が、今どんな状態にあるかを見極めなければなりません。「歯周基本検査」「歯周精密検査」は、これからの治療方針を決める重要な検査です。

□ まだ軽いあなたは「歯周基本検査」でOK

- 基本検査は
- ・歯周ポケットの深さを1箇所以上測ります
 - ・歯が動いていないかを調べます（歯の動揺度）

□ もう少し詳しく調べるときは「歯周精密検査」です

- 精密検査は
- ・歯周ポケットの深さを4箇所以上測ります
 - ・歯の動揺度を調べます
 - ・プラークを染め出して付き具合を調べます

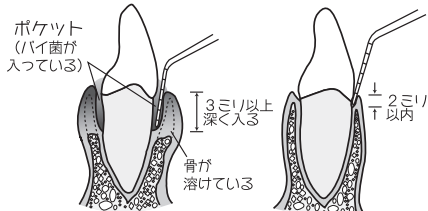
□ さらに詳しく調べるときもあります

- たとえば
- ・歯肉から出血していないか？
（血が出るのはポケットの中に炎症があります）
 - ・歯と歯の間隙間が大きいかわからないか？
（食べ物が挟まりやすい）
 - ・付着歯肉の幅
 - ・歯槽骨がどの程度失われているか？
 - ・口腔内写真
 - ・X線写真

歯周ポケットの測定検査

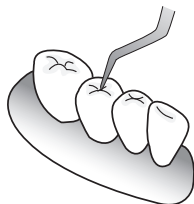
歯周病になると歯と歯肉の間の溝（歯周ポケット）が深くなり、その中に歯石が溜まります。

歯周病の歯ぐき 健康な歯ぐき



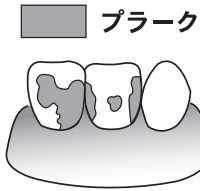
動揺度検査

ピンセットで歯を動かしてみても動揺度を調べます。



プラーク付着検査

歯と歯の間や歯と歯ぐきの境目等にプラークが付着しています。



KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

10 2004年 月号



『暑さ寒さも彼岸まで』とは言いますが、先月号にも書きましたが、季節の変わり目には、体調を崩してお口の中にも歯周病等の症状が出やすくなりますので、どうぞ体調管理にもご注意を。

『口内炎』も体調を崩したときにできやすいものです。口腔内に誰しもが持っているヘルペスウイルスなどのウイルスの一種によって、体調のくずれたとき等に症状が出てくる事が多いものです。口内炎等ははっきりした原因の確定が出来ない事も多いので（ストレスも関係していると言われております）、対症療法（症状にあわせた軟膏等の処方）が主となりますが、日常から疲労気味だと感じたり手足の『むくみ』を覚えたら、早めのサプリメント（アリナミン、チヨコラBB錠等のビタミンB複合製剤）を飲む事も効果があります。ビタミンB群、ビタミンC等は、余剰に飲んでても尿から出るのでも飲み過ぎても心配ありません。サプリメント（栄養補助食品）を効率よく利用しましょう。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

☆ 診療日変更のお知らせ ☆

● 10月9日(土) … 午後休診 ● 11月6日(土) … 午後休診
23日(土) … 午後休診

乙みや歯科

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

☎ 03-5699-8888

ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp